



公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合

理事会議事録

1. 日 時 令和3年5月25日(火) 午後2時～午後3時40分

2. 会 場 Zoomを用いたオンライン会議

3. 出席者 会長職務代行者 石島邦行(理事・副会長)
理事・副会長 田畑勝次 赤木弘蔵
専務理事 柳沢和雄
理 事 野口和之 石川一美 柳田利夫 水戸部照夫 飯田忠子
堤 卓雄 山本博一 斉喜博美 鶴田安秀 大田黒博
(理事17名中14名出席)

監 事 西島 寛

4. 議 題

(1) 審議事項

- ① 第1号議案 第63回全国スポーツ推進委員研究協議会開催地(滋賀県)について
- ② 第2号議案 令和2年度事業報告承認の件
- ③ 第3号議案 令和2年度貸借対照表・正味財産増減計算書・財産目録承認の件
- ④ 第4号議案 令和3年度定時総会開催日程について

(2) 報告事項

- ① ファミリー健康体力向上事業中央講習会について
- ② スポーツ推進委員リーダー養成講習会について
- ③ その他

午後2時 開会

5. 開 会

○ 議長の選任

理事会の議長は、定款第32条の規定により「会長がこれに当たる」と定められている

が、阿達雅志会長は内閣総理大臣補佐官就任に伴い権限を行使しない立場にあることから、石島邦行副会長が職務代行者として議長を務めることを確認した。

○ 出席理事数の確認

出席理事数について、理事現在数17名中、現時点で14名が出席し、定款第33条第1項の要件を満たし、本理事会は成立している旨の確認がなされた。

○ 議事録署名人の選任

定款第34条第2項の規定により、石島副会長（会長職務代行者）と出席監事が本理事会の議事録署名人となることの確認がなされた。

6. 議 事

◆ 審 議 事 項

① 第1号議案 第63回全国スポーツ推進委員研究協議会開催地（滋賀県）について

令和4年度に開催される第63回全国スポーツ推進委員研究協議会について、滋賀県の山本博一会長から開催要項（案）に基づき現段階における期日、会場、日程等についての説明があり、その後、次の日程を確認した。

期日：令和4年11月17日（木）・18日（金）

会場：YMIT アリーナほか

日程：1日目 開会式・表彰式 講演・シンポジウム 2日目 分科会1～4

本件について特に意見等はなく、第63回全国スポーツ推進委員研究協議会の開催地を滋賀県とすることとし総会で確認のうえ、スポーツ庁と共催することとなった。

② 第2号議案 令和2年度事業報告承認の件

柳沢専務理事から、令和2年度事業報告について、資料に基づき説明がなされた。

その主な内容は、新型コロナの影響を受け、第61回全国スポーツ推進委員研究協議会（栃木県）やスポーツ推進委員地区研修会が中止または延期となったこと。ファミリー健康体力向上事業は実施できなかったこと。スポーツ推進委員リーダー養成講習会をリモートで、しかも開催時期を、年度をまたぐ5月開催にしたこと。リモートで開催された生涯スポーツ・体力づくり全国会議2021においてはセッションを担当したこと。機関誌「みんなのスポーツ」の編集など。

質問) 地区研修会が中止または延期となっただけで費用負担が生じているのか。

意見) 決算報告の中で説明すればよい。

質問) リーダー養成講習会が年度をまたいで前年部分の講習会を行うという事だが、単年度に複数回開催できるのか。

答え) 年度内の開催数制限は設けていない。なお、令和3年度分の会場は既に例年3月に

確保してある。

本報告に対し他に質問・意見等はなく、令和2年度事業報告については、採決の結果、異議なく承認された。

③ 第3号議案 令和2年度貸借対照表・正味財産増減計算書・財産目録承認の件

細矢事務局長から、資料に基づき説明が行われた。

事業報告にあったとおり。新型コロナの影響で多くの事業が中止または延期となった。そのことにより負担金・助成金の支出が減り公益事業は黒字となった。この黒字部分を海外研修助成に活用できないか検討したい。令和2年度は収支相償の原則を満たせなかった。このことに関し内閣府への説明が必要となる。

なお、地区研修会の準備に当たっては会場設営や打合せ経費などが生じることから、主催者の一員である全国連合も応分の負担をする観点から助成を行った旨の説明があった。

次に、西島監事から、「去る5月7日に監査を実施したところ、適正に処理されていることを確認した」旨の監査報告があった。

質問) 地区研修会で各地区の表彰を行うことに全国連合が費用負担することは適切なのか。

答え) 各地区の決算を見ると借上げ費、旅費、印刷費といった費用が経常されている。連合は主催者の一員として応分の負担はすべきだと考える。

質問) 全国連合は土地のような固定資産は有しているのか。

答え) 備品などは有しているが土地などは有していない。

質問) 公益事業で黒字となった分をファミリー健康体力向上事業に活用することは可能か。

答え) ファミリー健康体力向上事業は、もともと年に9都道府県を限度に事業実施するとしていたが、このところの新規参加の申し込みは年に2県ほどにとどまっている。年に9都府県からの参加があれば9×80万の予算が必要となるので、その備えは検討したい。

意見) 予算を組むに当たっては理事会で検討して進めることになる。

監事) 法人運営は、あくまでも先に事業計画を立て、それに従って積み立てを行うのが筋で、例えば海外研修への補助のために積み立てる場合も理事会の決定によることになる。

コロナの影響は想定しておらず収支相償への準備が整っていなかったと言える。

今回は、令和3年度の公益事業予算が600万強の赤字となっていることから令和2年度・令和3年度2年間で収支相償を目指す方向にしてはどうだろうか。

事務局) 監事のご指導に従い内閣府への報告を行いたい。

本説明・報告に対し、特に質問・意見等はなく、令和2年度貸借対照表・正味財産増減計算書・財産目録及び監査報告については、採決の結果、異議なく承認された。

④ 第4号議案 令和3年度定時総会開催日程について

石島議長から、令和2年度事業報告などを審議するため、令和3年度定時総会を招集する件が諮られた。

昨年同様の書面によることにするか、今次理事会同様リモートでの開催とするか、それぞれの立場から意見が述べられ、協議の結果、令和3年度定時総会は6月10日(木)午後2時からリモートで開催することとなった。

なお、今回の定時総会がリモートでの開催となることから、令和元年度定時総会で提案のあった「スポーツ推進委員の在り方検討」に関する会長間の情報交換は行わないこととなった。

◆ 報告事項

① ファミリー健康体力向上事業について

令和元年度に事業参加した群馬県と宮崎県だが新型コロナの影響で令和2年度の体力測定会を実施できておらず、すでに群馬県からは令和3年度の体力測定会の実施も見送るとの報告が入っている。

② スポーツ推進委員リーダー養成講習会について

令和2年度の講習会は、年度をまたいで5月30日に延期し、リモートで開催を予定しており、現在31名の参加予定となっている。また、令和3年度は対面での講習会実現を願いつつ、会場となる国立オリンピック記念青少年総合センターの会議室を3月5日(土)6日(日)に確保している旨報告がなされた。

7. その他

地区研修会に対する全国連合の助成について

質問) コロナ禍にあって、地区研修会のやり方について、通常どおりの形式でやる必要があるのか、場合によっては開催日数を減らしたりすることは可能なのか。形を変えてやっても助成の対象となるのか。

答え) 特殊状況下にあって、通常どおりの開催は困難と思われる。研修を行うことが重要であり、何らかの形で開催できるのであれば主催者として連合が応分の負担をすることは当然と考える。

8. 閉会

議長より、以上をもって理事会を閉会する旨の発言があり、理事会は滞りなく終了した。

午後3時40分閉会

-----○-----

令和3年5月25日(火)

以上のとおり議事録の正確であることを証し、署名捺印する。

議事録署名人 議長

石 島 邦 行 

監 事

西 島 寛 



公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合

理事会議事録

1. 日時 令和4年3月11日（金） 午後2時～午後3時30分
2. 会場 Zoom を用いたオンライン会議
3. 出席者 会長職務代行者 石島邦行（理事・副会長）
理事・副会長 田畑勝次 赤木弘蔵
専務理事 柳沢和雄
理事 野口和之 石川一美 柳田利夫 飯田忠子 水戸部照夫
堤 卓雄 山本博一 斉喜博美 鶴田安秀 大田黒 博
(理事17名中14名出席)
監事 浜田穂積 西島 寛
4. 議題
 - (1) 協議事項
 - ① 第1号議案 令和4年度事業計画（案）の承認について
 - ② 第2号議案 令和4年度収支予算（案）の承認について
 - (2) 確認事項
 - ① 「役員選出基準」について
 - ② 第64回全国スポーツ推進委員研究協議会開催県について
 - (3) 報告事項
 - ① 第63回全国スポーツ推進委員研究協議会滋賀大会の準備状況について
 - ② 「ファミリー健康体力向上事業」及び「スポーツ推進委員リーダー養成講習会」について
 - (4) その他
 - ① 全国連合設立50周年記念事業について
 - ② 新規グッズ販売（連合マーク入りクリップファイル）について

午後2時開会

5. 開 会

○ 議長の選任

理事会の議長は、定款第32条の規定により「会長がこれに当たる」と定められているが、阿達雅志会長は国会日程の都合で出席できなくなったことから、石島邦行副会長が職務代行者として議長を務めることを確認した。

○ 出席理事数の確認

出席理事数について、理事現在数17名中、現時点で14名が出席し、定款第33条第1項の要件を満たし、本理事会は成立している旨の確認がなされた。

○ 議事録署名人の選任

定款第34条第2項の規定により、石島副会長（会長職務代行者）と出席監事2名が本理事会の議事録署名人となることの確認がなされた。

6. 議事

◆ 協議事項

① 第1号議案 令和4年度事業計画（案）の承認について

柳沢専務理事より、令和4年度事業計画（案）について、資料に基づいて提案説明が行われた。

令和2年度に続き令和3年度も、新型コロナの影響でほとんどの事業が実施できない状況であったが、令和4年度は次の事業を実施していきたい。その主なものは、①ファミリー健康体力向上事業の実施 ②第63回全国スポーツ推進委員研究協議会の開催 ③スポーツ推進委員地区研修会の開催 ④スポーツ推進委員リーダー養成講習会の開催 ⑤「スポーツ推進委員ハンドブック」の改訂・発刊 ⑥機関誌「みんなのスポーツ」・「スポーツ推進委員手帳」やグッズの販売促進など

本提案に対し、以下の報告や確認がなされた。

質問) 事業計画にある「ファミリー中央講習会」や「リーダー養成講習会」の日程がなかなか決まらず参加希望者を募るのにも苦慮している。実施時期の目途を早めに示してほしい。

答え) 「リーダー養成講習会」は概ね3月上・中旬に実施されている。また、ファミリー健康体力向上事業の「中央講習会」はコロナが問題になる前は6月～7月に実施されていた。いずれも講師の先生方の都合や会場確保の都合に合わせて日程を調整しているが、次回理事会には報告できるようにしたい。

田畑理事) コロナ禍で実施できていないが、令和4年度の計画に入れており、事業委員会担当としては前向きに検討できればと思っている。

質問) 生涯スポーツ全国会議は沖縄でハイブリッド開催が検討され、最終的にオンデマンド配信のみとなったが、参加者はどれくらいあったのか。全国研究協議会滋賀大会も開催形式を検討しており、その参考として知りたい。

答え) 全国会議参加者集計はまだ届いていないが、700名程度と思われる。これまでの対面での会議には800名ほど参加しており、少な目になるものとみている。

質問) スポーツ推進委員ハンドブックの改訂版が出る時期はいつごろか。

答え) ハンドブック改定について、令和3年度の発刊を考えていたが、第3期スポーツ基本計画が動いていたこともあり時期を遅らせた。他方、答申が去る3月3日に出されたことを受け改訂作業を進め、編集を年内に終え、来年3月のリーダー養成講習会、これに続く4月からの研修等で使えるような運びとしたいと考えている。

その他質問・意見はなく令和4年度事業計画(案)は、採決の結果、異議なく承認された。

② 第2号議案 令和4年度収支予算(案)の承認について

細矢事務局長より、令和4年度収支予算(案)について、説明が行われた。

その主な内容は、収益について、スポーツ推進委員数の減少に伴う普通会員会費の収入減少、賛助会費の収入減少。スポーツ安全協会から機関誌「みんなのスポーツ」への広告掲載料減額などによる収入減を見込んでいる。

費用については、コロナ禍で見送っている事業を実施する前提で予算計上し、リモートで行われている理事会を対面でできるよう旅費負担増を見込んだ予算となっている。

本件について特に意見等はなく、令和4年度収支予算(案)は異議なく承認された。

説明途中の14時46分に、東日本大震災(2011年3月11日14時46分18秒に発生)で犠牲となられた方々に対し哀悼の意を表すべく1分間の黙とうを捧げた。

◆確認事項

① 「役員選出基準」について

役員選任規程第2条により普通会員数に基づいた「役員選出基準」(枠は前回と同数)について確認された。

② 第64回全国スポーツ推進委員研究協議会開催県について

国民スポーツ大会は、滋賀県の次は青森県の開催が見込まれており、全国研究協議会(滋賀県)の後は青森県に開催をお願いすることが確認された。

◆ 報告事項

- ① 第63回全国スポーツ推進委員研究協議会滋賀大会の準備状況について
滋賀県の山本会長から準備状況について概略次のような報告がなされた。

・期日/令和4年11月17日(木)・18日(金)

・会場/滋賀県草津市 YMITアリーナほか

大会テーマは、3年後に開催される国民スポーツ大会のテーマ「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025」に合わせ『「わた SHIGA 輝く未来のために」～共にスポーツで繋がる喜びを～』を考えている。コロナ禍にあつて、開会前に行われている歓迎アトラクションも滋賀県の魅力をメディアを使って紹介するなどの工夫を検討している。講師については柳沢専務の力をお借りしながら検討を進めたいと考えている。

まだ、コロナが収束したと言える状況にはなく、通常の形式による開催、ハイブリッド型の開催、オンライン配信などいろんなケースを検討している。また、滋賀県には大きな施設がなく予定しているYMITアリーナも収容人員は3,000名程度、詰めて3,500名程度で、人が座る距離をとって人数を半分にするのは(収支の関係で)難しいと考えている。悩ましい状況下であるが、皆さんのお知恵を借りながら、開催の可否を6月の定時総会までには決定したいと考えている。

- ② 「ファミリー健康体力向上事業」及び「リーダー養成講習会」について

細矢事務局長より、去る3月5日にリモートで実施したリーダー養成講習会について、令和4年度の日程を報告するつもりでいたが、会場となる国立オリンピック記念青少年総合センターは、令和4年8月から令和5年3月末まで全面改修工事のため使用できなくなり会場が確保できず、また、ファミリー中央講習会についても決定に至っておらず、次の理事会にはお知らせできるよう努める旨の報告がなされた。

◆ その他

- ① 全国連合設立50周年事業について

細矢事務局長から次の説明があつた。全国連合は3年後に設立50周年を迎える。これを記念し、記念誌の出版及び記念式典の開催、そのための費用として出版に300万円、式典に100万円、準備費用に100万円の計500万円を見込んでいる。その背景には、コロナ禍で公益事業を実施できず公益事業支出が少なく公益法人としての遊休財産保有制限額を超える状態となっていることもある。令和3年度の決算状況を見ながら、本件事業費を、特定資産として切り分けるかご検討いただきたい。

- ② 新規グッズ(連合マーク入りクリップファイル)販売の提案について

事業委員から提案のあった本件について、検討はすすめることとなった。

③ 東海四県地区研修会について

岐阜県の堤会長から概要次の通りの報告があった。

当初予定された2月18日(金)・19日(土)の東海四県地区研修会は新型コロナウイルスの影響で対面での開催は不可能となった。そこで、分科会に当たる各地区の研究発表を主として収録したユーチューブ動画配信とDVD及び記念冊子の配付を行った。

その結果、これまでは参加した者だけが受けられた講習が、その対象を広げて実施できた。「ピンチはチャンス」と捉え、岐阜モデルとも言える新しい発想で実践できたことを報告する。

④ 「令和4年度第1回理事会」について

定時総会は6月9日(木)開催を予定している。定時総会と招集を決定する理事会との間には二週間開ける必要があることから、理事会を5月20日(金)に開催することとし、その形式については状況を見て判断することとなった。

7. 閉会

議長より、以上をもって理事会を閉会する旨の発言があり、理事会は滞りなく終了した。

午後3時30分閉会

-----○-----

令和4年3月11日(金)

以上のとおり議事録が正確であることを証し、署名捺印する。

議事録署名人

会長職務代行者・議長

石馬邦行 

監事

浜田穂積 

監事

西島寛  